

49 ヤマシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Scolopax rusticola

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

ヨーロッパからシベリア南部、中国西部、サハラ、日本北部などで繁殖し、繁殖後は北アフリカ、アジア南部、日本南部などに渡り、越冬する。日本では主に本州北部以北で繁殖し、本州中部以南で越冬するが、本州中部でも一部繁殖するところがある。平地から山地の森林に生息し、主に夜間に行動する。林内や林縁、農耕地などでミミズ類を好んで採食する。



写真提供：出口敦司

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、天売島、本州北部、飛島、本州中部、佐渡、舩倉島、本州南西部、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、宇治群島、草垣群島、上三島諸島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、明石市、西宮市、★洲本市、芦屋市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、★宝塚市、高砂市、★川西市、★三田市、丹波篠山市、丹波市、★南あわじ市、朝来市、★淡路市、猪名川町、稲美町、香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局地的 繁殖	希少
						○			

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に10-翌4月上旬に生息する。夜行性であるため人の目につきにくいこともあるが、県南部では記録されなくなった地域が増えている。

保護上の留意点

生態については情報が少なく、不明な点が多いが、薄暗い湿った林に好んで生息し、山間の湿地環境が主要な採食地となっていることから、山間部の湿地を良好に維持することが本種の保護にも繋がると考えられる。